2022年度（一社）日本音響学会九州支部総会資料

会場: Zoomによるオンライン会議

日時： 2022年 3 月 26 日（土）13:00 ～ 14:30

議事内容：

1. 2021年度活動報告
2. 2021年度収支報告
3. 2021年度会計監査報告
4. 2022年度活動計画
5. 2022年度予算案
6. 2022年度支部役員及び評議員選挙結果
7. 支部学生表彰について
8. 日本音響学会九州支部学会活動貢献賞について
9. 学生表彰の改革について、検討ワーキング報告
10. その他

1. 2021 年度活動報告

事業年度：2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日

(1)　2021 年度会員現況

会員種別	2021 年 3 月 22 日現在	2022 年 3 月 23 日現在	2020 年度内の 増減
名誉会員	1	1	
終身会員	9	9	
正会員	144(17)	144(15)	0
学生会員	54(24)	54(15)	0
会員数合計	208	208	0
賛助会員	2 社 2 口	2 社 2 口	0 社 0 口

※括弧内は会費未納者

(2)　2021 年度役員名簿

役職	氏名	所属	任期満了日
支部長	古家 賢一	大分大学	2022 年 3 月 31 日
副支部長	高田 正幸	九州大学	
庶務幹事	岡本 学	崇城大学	2022 年 3 月 31 日
	城　一裕	九州大学	2023 年 3 月 31 日
会計幹事	西村 勇也	熊本高等専門学校	2022 年 3 月 31 日
	藤井 慶	熊本高等専門学校	2023 年 3 月 31 日
会計監査	川井 敬二	熊本大学	2022 年 3 月 31 日
	西島 恵介	大分大学	2023 年 3 月 31 日
評議員	秋田 昌憲	大分大学	2022 年 3 月 31 日
	岡本 則子	大分大学	
	緒方 公一	熊本大学	
	河原 一彦	九州大学	
	鮫島 俊哉	九州大学	
	薗田 光太郎	長崎大学	2023 年 3 月 31 日
	福島　学	日本文理大学	
	藤井 成清	パナソニック補聴器株式会社	
	舟木 慶一	琉球大学	
	山内 勝也	九州大学	

(3)　支部総会定足数の確認

支部総会（2022 年 3 月 27 日 13:00～14:30）において，議決権を持つ会員数：
名誉会員数，終身会員数，正会員数の合計 154 名
定足数：31 名（議決権を持つ会員数の 5 分の 1)，
出席者：31 名，委任状：20 名，合計：51 名であるので，総会成立。

(4)　事業内容

１．九州支部主催または共催の研究発表会，研究会等の実施

開催日	支部主催 共催の別	会合名(開催場所)
2021 年 9 月 24,25 日（金,土）	共催	第 74 回電気・情報関係学会九州支部連合大会（オンライン開催）
2021 年 11 月 27 日（土）	主催	第 15 回学生のための研究発表会（オンライン開催）
2021 年 8 月 31 日（火）	主催	アコースティックブートキャンプ（ABC-Q）（オンライン開催）
2021 年 11 月 9 日（火）	共催	建築音響，騒音・振動研究会（九州大学）
2021 年 11 月 27 日（土）	主催	第 15 回学生のための研究発表会（オンライン開催）
2021 年 12 月 22,23 日（水,木）	共催	音響・超音波サブソサイエティ合同研究会（崇城大学）
2022 年 3 月 26 日（土）	主催	講演会（オンライン開催）

２．学生表彰の実施

2021 年度エントリ締切（2022 年 1 月 14 日）から遡って 2 年以内に九州支部が主催または共催した研究発表会，研究会等における学生の発表を対象として応募者を募り，特に優れたものを表彰する事業を行った。2020 年 12 月 21 日に応募案内を送付した結果，締切までに合計で 6 件の応募があった。その内訳は，学部 4 年生が 6 件，大学院修士課程学生が 0 件，大学院博士課程学生が 0 件である。2022 年 1 月に九州支部学生表彰審査委員会が設置され，厳正な選考を行った結果，2 名の学生表彰者を選出した。表彰式は 2022 年 3 月 26 日の支部総会の後，引き続き実施される。なお，表彰対象者の詳細は後の議事で報告する。

３．支部学会活動貢献賞による顕彰の実施

役員による推薦がなかったため，本年度は該当者なしとした。

４．アコースティックブートキャンプ(ABC-Q)の実施

2021 年 8 月 31 日（火）9:30～18:30 にオンライン開催された。一般参加学生 34 名（4 大学・学部 3 年～修士 2 年 29 名，一般参加者 5 名），オンデマンド視聴登録者 2 名，TA 院生 5 名，実行委員 6 名の参加があった。懇親会のみが Spatial Chat での実施で，それ以外は全て Zoom ミーティングで実施した。また，オンライン開催のメリットを積極的に利用する仕組みとして，実行委員＋TA 学生＋参加学生の大きなグループの Slack を導入し，各種資料の共有や，事前のプログラミング環境の構築作業についての Q&A などが行われた。

研修内容の概要は以下の通り。

・開会式，アイスブレイク
・技術研修 1：楽器の物理シミュレーション　～「ピアノっぽさ」とは何なのか／講師：

関口 周（九州大学）
・技術研修 2：目で見る日本語　～日本語音声学の基礎～／講師：山川仁子（尚絅大学）
・技術研修 3：音響情報ハイディング演習　～大雑把なヒトと，真正直なマシン～／講師：薗田光太郎（長崎大学）
・九州大学大橋キャンパスの施設紹介動画の放送
・学生セッション：学生相互の互選により優秀発表賞を 2 名選出し，副賞（5,000 円相当）を贈呈
・実行委員会

実行委員長	山内 勝也　（九州大学）
副委員長	薗田 光太郎　（長崎大学）
実行委員	山川　仁子　（尚絅大学）
	岩見　貴弘　（九州大学）
	山下 優　（長崎大学）
	関口 周　（九州大学）

５．学生のための研究発表会の実施

2021 年 11 月 27 日（土）にオンラインにより開催された。12 件の発表があり，45 名の参加があった。

・実行委員会

実行委員長	古家 賢一　（支部長）
副実行委員長	高田 正幸　（副支部長）
論文受付・プログラム担当	岡本 学　（庶務幹事）
論文集編集担当	城　一裕　（庶務幹事）

６．講演会の実施

2022 年 3 月 27 日（土）14:45～15:45 にオンラインにより開催された。講師は大分大学の大鶴　徹　先生，講演タイトルは「音響学，九州・世界・歴史－話しておきたいこと聞いておいてもらいたいこと－」であり，35 名の参加があった。

７．電気・情報関係学会九州支部連合大会における活動

1)第 73 回電気・情報関係学会九州支部連合大会

2021 年 9 月 24 日（金），25 日（土）に開催された。佐賀大学で開催予定であったが，オンライン開催に変更された。講演件数は 315 件（招待 1，企業 1 含む）であり，参加登録は 507 件であった。音響・音声部門の発表はなかった。

2)会議

2021 年　5 月 26 日（水）第 1 回大会委員会・合同会議（オンライン会議）
2021 年　7 月 12　日（月）大会プログラム編集会議（オンライン会議）
2021 年　8 月 31 日（火）第 2 回大会委員会（オンライン会議）
2021 年 12 月　7 日（火）第 3 回大会委員会（オンライン会議）
2022 年　3 月 18 日（金）第 4 回大会委員会（オンライン会議）

（上記会議の重要な審議事項は，連合大会の今後の運営方針など。）

3)2021 年度連合大会役員

大会委員　崇城大学　岡本 学

4)2022 年度連合大会役員

大会委員　崇城大学　岡本 学

5)第 75 回電気・情報関係学会九州支部連合大会

2022 年 9 月 16 日（金），17 日（土）に長崎大学にて開催。コロナ禍の状況によってはオンライン開催へ変更する予定。講演申込は 6 月 6 日（月）～7 月 5 日（火），原稿締切 8 月 4 日（木），プログラム編集会議 7 月 6 日（水）～7 月 11 日（月）にオンラインで実施の予定。

なお 2023 年度は，音響学会が副当番学会であるため，次期庶務幹事２人のうち１人を務める必要があり，2022 年度第３回委員会（2022 年年末頃開催予定）までに選出する必要がある。

(5)　事務，その他の活動

１．インターネットを利用した支部活動の公開（継続）

・支部ホームページの運用を継続し，九州支部関連文書，支部からのお知らせ，支部行事の報告の掲載や管理を行った。
・支部ホームページの掲載内容の充実のため，過去の総会開催や活動報告書，学生表彰者の氏名などの情報公開に向けた資料整理を行った。
・支部会員 ML および支部役員 ML の管理。
・ネットワーク委員：
山内勝也（九州大学）（任期：2017 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日[*1]）
岡本則子（大分大学）（任期：2021 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

[*1] ネットワーク委員は 4 年任期とするため，当初は 2021 年 3 月までの任期であったが，安定した引き継ぎのため 1 年延長された。岡本委員の任期最終年度となる 2024 年度は次期ネットワーク委員と 2 名体制とする。

２．役員選挙の実施および役員会，総会の開催

2022 年 3 月に，オンラインによる実施，開催。

令和3年度　日本音響学会九州支部　決算報告

勘定科目	R03年度 決算（2022/02/28）	R03年度 予算（本部提出）	増減（決算－予算）	備考
Ⅰ事業活動収支の部			0	
1.事業活動収入			0	
①事業収入	0	0	0	
研究発表会事業収入	0	0	0	
支部若手研究者発表会収入	0	0	0	
支部連合大会分担金戻入収入	0	0	0	
講習会事業収入	0	0	0	
講習会参加料収入	0	0	0	
特別企画収入	0	0	0	
国際会議事業収入	0	0	0	
②雑収入	17	16	1	
受取利息収入	17	16	1	
雑収入	0	0	0	
③◎他会計からの繰入額	414,000	440,000	▲ 26,000	
③☆本部会計からの繰入金収入(送金額)	402,522	428,522	▲ 26,000	
△本部会計繰入金収入(源泉補充額)	11,478	11,478	0	
☆支部扱いの事業活動収入計(A)	402,539	428,538	▲ 25,999	
◎総額の支部事業活動収入計(B)	414,017	440,016	▲ 25,999	

勘定科目	R03年度 決算	R03年度 予算		
2.事業活動支出			0	
①事業費支出	213,583	425,000	▲ 211,417	
研究委員会等事業費	40,000	90,000	▲ 50,000	
支部研究会補助金支出	40,000	90,000	▲ 50,000	4件（2021/4/1から2022/2/14）
支部談話会補助金支出		0	0	
研究発表会等事業費	50,000	200,000	▲ 150,000	
支部連合大会費支出	50,000	50,000	0	連合大会
支部若手研究者発表会支出	0	150,000	▲ 150,000	学生のための研発（学生アルバイトなし）
支部主催研究会支出		0	0	
講習会等事業費	88,583	100,000	▲ 11,417	
講習会費支出		0	0	
支部講演会・見学会支出		0	0	
支部交流推進経費	88,583	100,000	▲ 11,417	サマーセミナー
選奨事業費	35,000	35,000	0	
支部表彰支出	15,000	15,000	0	R2年度総会3名
貢献賞支出	20,000	20,000	0	R2年度総会1名
特別企画等事業費	0	0	0	
国際会議等事業費支出		0	0	
支部周年事業費支出	0	0	0	周年事業支出
その他の事業経費		0	0	
②管理費	34,139	58,000	▲ 23,861	
旅費交通費支出		0	0	
通信運搬費支出	894	10,000	▲ 9,106	郵送
文具消耗品等購入支出	0	5,000	▲ 5,000	文具
印刷製本費支出		0	0	
支部HP維持管理費		0	0	
会議費支出	10,000	0	10,000	
支部総会関連支出	10,000	0	10,000	R2年度総会特別講演謝金
支部役員会関連支出	0	0	0	
支部委員会関連支出		0	0	
諸手数料支出	3,245	3,000	245	振込手数料
消耗什器備品購入費支出		0	0	
雑費支出	20,000	40,000	▲ 20,000	支部Web管理委託バイト
③他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出		0	0	
			0	
☆◎支部扱い事業活動支出計(C)	247,722	483,000	▲ 235,278	
☆支部扱いの事業収支差額(D)[A-C]	154,817	▲ 54,462	209,279	
◎当期支部源泉支払額(E)	11,704	17,000	▲ 5,296	今期の源泉支払（謝金＆バイト）
◎当期支部事業収支差額総計(F)[B-C-E]	154,591	▲ 59,984	214,575	

II 投資活動収支の部			0	
			0	
1.投資活動収入			0	
①固定資産売却収入	0	0	0	
什器備品売却収入		0	0	
②積立金取崩収入		0	0	
			0	
投資活動収入計	0	0	0	
			0	
2.投資活動支出			0	
①固定資産取得支出		0	0	
②特定資産取得支出		0	0	
			0	
③繰入金支出		0	0	
			0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額(G)	0	0	0	

III 財務活動収支の部			0	
1.財務活動収入			0	
①借入金収入		0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
			0	
2.財務活動支出			0	
①借入金返却支出		0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額(H)	0	0	0	

IV 予備費支出(I)	0	20,000	▲ 20,000	

☆当期支部扱い収支差額(J)[D+G+H-I]	154,817	▲ 74,462	229,279	**当期の収支**
◎当期支部収支差額総計(K)[F+G+H-I]	154,591	▲ 79,984	234,575	本部における九州支部の収支

☆前期支部扱い繰越収支差額(L)	2,046,969	2,046,969	0	前期決算時点の支部の全財産
［うち連合大会担当学会準備金］	0	0	0	(あ)
［うち周年行事準備金］	100,000	100,000	0	(い)
［うち周年行事準備金特別積立金］	600,000	600,000	0	(う)
［うち若手研究者発表会準備金］	0	0	0	(え)
［うち新学術事業準備金特別積立金］	250,000	250,000	0	(お)
［うちその他繰越金］	1,096,969	1,096,969	0	
△前期末源泉税本部預かり収支差額(M)	▲ 1,478	▲ 1,478	0	
◎前期支部繰越収支差額総計(N)	2,045,491	2,045,491	0	
☆当期支部扱い次期繰越収支差額(O)[J+L]	2,201,786	1,972,507	229,279	当期決算時点の支部の全財産（次年度L）
［うち連合大会担当学会準備金］	0	0	0	(ア)
［うち周年行事準備金］	150,000	150,000	0	(イ)＝(い)+5万円（5万円/年）
［うち周年行事準備金特別積立金］	600,000	600,000	0	(ウ)＝(う)+40万円
［うち若手研究者発表会準備金］	0	0	0	(エ)=(え)－8万円
［うち新学術事業準備金特別積立金］	250,000	250,000	0	(オ)＝(お)-10万円
［うちその他繰越金］	1,201,786	972,507	229,279	
△当期支部源泉税支払額(P)	11,704	17,000	▲ 5,296	次年度の本部会計繰入金収入
◎当期源泉税本部預かり収支差額(Q)	▲ 1,704	▲ 7,000	5,296	
◎当期支部繰越収支差額総計[K+N]	2,200,082	1,965,507	234,575	

積立金

［うち連合大会担当学会準備金］	決算	予算	
前期からの繰越	0	0	(あ)
当期積み立て（前期総会にて承認）	50,000	50,000	
当期支出（前期総会にて承認）	50,000	50,000	
次期への繰越	0	0	(ア)
［うち周年行事準備金］	決算	予算	
前期からの繰越	100,000	100,000	(い)
当期積み立て（前期総会にて承認）	50,000	50,000	
当期支出（前期総会にて承認）	0	0	
次期への繰越	150,000	150,000	(イ)
［うち周年行事準備金特別積立金］	決算	予算	
前期からの繰越	600,000	600,000	(う)
当期積み立て（前期総会にて承認）	0	0	
当期支出（前期総会にて承認）	0	0	
次期への繰越	600,000	600,000	(ウ)
［うち若手研究者発表会準備金］	決算	予算	
前期からの繰越	0	0	(え)
当期積み立て（前期総会にて承認）	150,000	150,000	
当期支出（前期総会にて承認）	150,000	150,000	
次期への繰越	0	0	(エ)
［うち新学術事業準備金特別積立金］	決算	予算	
前期からの繰越	250,000	250,000	(お)
当期積み立て（前期総会にて承認）	100,000	100,000	
当期支出（前期総会にて承認）	100,000	100,000	
次期への繰越	250,000	250,000	(オ)
積立金総計	決算	予算	
前期からの繰越	950,000	950,000	
当期積み立て（前期総会にて承認）	350,000	350,000	
当期支出（前期総会にて承認）	300,000	300,000	
次期への繰越	1,000,000	1,000,000	

令和　4　年　3　月　9　日

（一社）日本音響学会　九州支部
支部長　古家　賢一　殿

（一社）日本音響学会　九州支部

会計監査　西島恵介

会計監査　川井敬二

令和　三　年度　収支決算書について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令および支部規則に照らして正当であることを認めます。

4. 2022 年度活動計画

事業年度：2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日

(1). 事業計画

1. 九州支部主催または共催の研究発表会，研究会等の実施

- 2022 年度は 9 件程度(2019 年度並み)の開催数を見込んでいる。講演会，シンポジウム等の開催協力にも適宜対応する。但し，支部補助金を伴う協力に関しては，予算の関係上，九州支部会員に還元されるところが大きいか，補助の必要性があるかを考慮の上，適宜判断する。
- 2022 年度も支部主催の学生のための研究発表会を実施する予定である。現在のところ 11 月中旬開催を予定している。
- 2022 年度も支部主催のアコースティックブートキャンプ九州（ABC-Q）を実施する予定である。

2. 学生表彰の実施

2022 年度内公示から 24 ヶ月に遡って九州支部が主催または共催する，研究発表会，研究会および「学生のための研究発表会」などにおける学生の発表を対象として応募者を募り，特に優れたものを表彰する。

なお，学生表彰の申請方法，実施時期については，検討ワーキングにて議論を継続し，必要に応じ改定を行う。

3. 九州支部学会活動貢献賞による顕彰の実施

本支部活動の活性化に多大な貢献があった支部所属の正会員又は学生会員に対し九州支部学会活動貢献賞により顕彰する。

4. 電気・情報関係学会九州支部連合大会における活動

- 分担金の支出，役員の派遣
- 2022年度（第75回）電気・情報関係学会九州支部連合大会が2022年9月16日（金），17日（土）に長崎大学にて開催される。連合大会運営方針に基づき，開催の当番学会は，電気学会／副当番学会 電気設備学会である。

  連合大会委員※：　岡本　学（崇城大学）

  ※例年庶務幹事が連合大会委員を担当していたが，平成28年度より，関連分野を専門とする支部会員に担当を依頼することとする。

  主な日程：

  講演申込（タイトル，要旨）　6 月6　日（月）～7 月5 日（火）予定

原稿締切8月4日（木）予定，プログラム編集会議7月6日（水）～7月11日頃

- 大会運営に関する特記事項
  学生ポスターセッションが開催され，ポスター表彰も行われる見通し。
  2023年度（第76回）は音響学会が副当番(主当番電子情報通信学会)となるため，第76回大会庶務幹事を2022年度第三回大会委員会(2022年12月頃開催)までに選出する必要がある。それ以前から会議への出席は可能（2021年度は5月の第一回から参加）。

(2). 事務，その他の活動

1. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）
   学会本部で管理するサーバー(acoustics.jp)において，支部関連文書，支部からのお知らせなど，支部活動の公開を継続的に実施する。また，継続的な保守のための環境整備を行う。

   ネットワーク委員：委員数：1 名，任期　：4 年[*1]
   岡本則子（大分大学）（任期：2021 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

   [*1] 安定した引き継ぎのため，任期最終年度は，次期ネットワーク委員との 2 名体制とする。

2. 役員選挙の実施および役員会，総会の開催
   2023 年 3 月に実施，開催。

令和４年度　日本音響学会九州支部　予算　（案）

勘定科目	R04年度	R03年度		
	予算	予算	増減（R04－R03）	備考
Ⅰ事業活動収支の部				
1.事業活動収入	0	0	0	
①事業収入	0	0	0	
研究発表会事業収入	0	0	0	
支部若手研究者発表会収入	0	0	0	
支部連合大会分担金戻入収入	0	0	0	
講習会事業収入	0	0	0	
講習会参加料収入	0	0	0	
特別企画収入	0	0	0	
国際会議事業収入	0	0	0	
②雑収入	17	16	1	
受取利息収入	17	16	1	前期利息同額を見込む
雑収入	0	0	0	
③◎他会計からの繰入額	417,000	414,000	3,000	支部会員数による
③☆本部会計からの繰入金収入(送金額)	405,296	402,522	2,774	上の繰入額から前期源泉額が引かれて送金される
△本部会計繰入金収入(源泉補充額)	11,704	11,478	226	前期の源泉支払額（確定）
☆支部扱いの事業活動収入計(A)	405,313	402,538	2,775	
◎総額の支部事業活動収入計(B)	417,017	414,016	3,001	

勘定科目	R04年度	R03年度		
	予算	予算		
2.事業活動支出				
①事業費支出	400,000	425,000	▲ 25,000	
研究委員会等事業費	90,000	90,000	0	
支部研究会補助金支出	90,000	90,000	0	前々期実績と同じ9件を見込む
支部談話会補助金支出	0	0	0	
研究発表会等事業費	200,000	200,000	0	
支部連合大会費支出	50,000	50,000	0	連合大会
支部若手研究者発表会支出	150,000	150,000	0	学生のための研発（11月実施現地開催予定）
支部主催研究会支出	0	0	0	
講習会等事業費	100,000	100,000	0	
講習会費支出	0	0	0	
支部講演会・見学会支出	0	0	0	
支部交流推進経費	100,000	100,000	0	サマーセミナーABC-Q（新学術事業）
選奨事業費	10,000	35,000	▲ 25,000	
支部表彰支出	10,000	15,000	▲ 5,000	2人×＠5000円（確定）
貢献賞支出	0	20,000	▲ 20,000	0人（確定）
特別企画等事業費	0	0	0	
国際会議等事業費支出	0	0	0	
支部周年事業費支出	0	0	0	周年事業支出
その他の事業経費	0	0	0	
②管理費	58,000	58,000	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	10,000	10,000	0	郵送（主に書類授受送信の切手代）
文具消耗品等購入支出	5,000	5,000	0	文具
印刷製本費支出	0	0	0	
支部HP維持管理費	0	0	0	プロバイダへの支払い
会議費支出	0	0	0	
支部総会関連支出	0	0	0	前年度末開催総会（菓子，会場）
支部役員会関連支出	0	0	0	
支部委員会関連支出	0	0	0	
諸手数料支出	3,000	3,000	0	振込手数料，前期予算案に合わせた
消耗什器備品購入費支出	0	0	0	
雑費支出	40,000	40,000	0	支部Web管理委託バイト(2万)，昨年度分払い忘れ追加
③他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
☆◎支部扱い事業活動支出計(C)	458,000	483,000	▲ 25,000	
☆支部扱いの事業収支差額(D)[A-C]	▲ 52,687	▲ 80,462	27,775	
◎当期支部源泉支払額(E)	17,000	17,000	0	今期の源泉支払見込み（前々期実績に合わせた）
◎当期支部事業収支差額総計(F)[B-C-E]	▲ 57,983	▲ 85,984	28,001	

II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入	0	0	0	
①固定資産売却収入	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	
②積立金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2.投資活動支出	0	0	0	
①固定資産取得支出	0	0	0	
②特定資産取得支出	0	0	0	
③繰入金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額(G)	0	0	0	

III 財務活動収支の部				
1.財務活動収入	0	0	0	
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出	0	0	0	
①借入金返却支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額(H)	0	0	0	

IV 予備費支出(I)	20,000	20,000	0	

☆当期支部扱い収支差額(J)[D+G+H-I]	▲ 72,687	▲ 100,462	27,775	**当期の収支**
◎当期支部収支差額総計(K)[F+G+H-I]	▲ 77,983	▲ 105,984	28,001	本部における九州支部の収支

☆前期支部扱い繰越収支差額(L)	2,046,969	2,046,969	0	前期決算時点の支部の全財産
［うち周年行事準備金］	100,000	100,000	0	
［うち周年行事準備金特別積立金］	600,000	600,000	0	
［うち新学術事業準備金特別積立金］	250,000	250,000	0	
［うちその他繰越金］	1,096,969	1,096,969	0	
△前期末源泉税本部預かり収支差額(M)	▲ 1,478	▲ 1,478	0	
◎前期支部繰越収支差額総計(N)	2,045,491	2,045,491	0	
☆当期支部扱い次期繰越収支差額(O)[J+L]	1,974,282	1,946,507	27,775	当期決算時点の支部の全財産（次年度L）
［うち周年行事準備金］	200,000	150,000	50,000	（5万円/年）目標50万円(R10年度)
［うち周年行事準備金特別積立金］	600,000	600,000	0	
［うち新学術事業準備金特別積立金］	250,000	250,000	0	
［うちその他繰越金］	924,282	946,507	▲ 22,225	
△当期支部源泉税支払額(P)	17,000	17,000	0	次年度の本部会計繰入金収入
◎当期源泉税本部預かり収支差額(Q)	▲ 7,000	▲ 7,000	0	
◎当期支部繰越収支差額総計[K+N]	1,967,508	1,939,507	28,001	

積立金

［うち連合大会担当学会準備金］	予算	予算		
前期からの繰越	0	0	（あ）	
当期積み立て	50,000	50,000	通常5万円/年	
当期支出	50,000	50,000		
次期への繰越	0	0	（ア）	維持額5万円
［うち周年行事準備金］	予算	予算		
前期からの繰越	150,000	100,000	（い）	
当期積み立て	50,000	50,000	通常5万円/年	
当期支出	0	0		
次期への繰越	200,000	150,000	（イ）	目標額50万円（R10年度：30周年）
［うち周年行事準備金特別積立金］	予算	予算	20周年の残	
前期からの繰越	600,000	600,000	（う）	
当期積み立て	0	0		
当期支出	0	0		
次期への繰越	600,000	600,000	（ウ）	維持額60万円
［うち若手研究者発表会準備金］	予算	予算		
前期からの繰越	0	0	（え）	
当期積み立て	150,000	150,000	通常15万円/年	
当期支出	150,000	150,000		
次期への繰越	0	0	（エ）	維持額15万円
［うち新学術事業準備金特別積立金］	予算	予算		
前期からの繰越	250,000	250,000	（お）	
当期積み立て	100,000	100,000	通常10万円/年	
当期支出	100,000	100,000		
次期への繰越	250,000	250,000	（オ）	維持額10万円
積立金総計	予算	予算		
前期からの繰越	1,000,000	950,000		
当期積み立て	350,000	350,000		
当期支出	300,000	300,000		
次期への繰越	1,050,000	1,000,000		

6. 2022 年度支部役員及び評議員選挙結果

有効得票数　48　票　各候補者は　46～47　票を獲得し，承認された。

任期：2022 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

役職別	候補者氏名	勤務先
支部長	川井　敬二	熊本大学
副支部長	河原　一彦	九州大学
庶務幹事	小林　牧子	熊本大学
会計幹事	中島　栄俊	熊本高等専門学校
会計監査	尾本　章	九州大学
評 議 員	岡本　学	崇城大学
評 議 員	高田　正幸	九州大学
評 議 員	富来　礼次	大分大学
評 議 員	古家 賢一	大分大学
評 議 員	西村 勇也	熊本高等専門学校

来年度まで任期が継続する役員は以下のとおり。

任期：2021 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

役職別	候補者氏名	勤務先
評 議 員	薗田　光太郎	長崎大学
評 議 員	福島　学	日本文理大学
評 議 員	藤井 成清	パナソニック株式会社
評 議 員	舟木 慶一	琉球大学
評 議 員	山内 勝也	九州大学
庶務幹事	城　一裕	九州大学
会計幹事	藤井 慶	熊本高等専門学校
会計監査	西島 恵介	大分大学

7. 支部学生表彰について

学部生 6 件，大学院博士前期課程 0 件，大学院博士後期課程 0 件のエントリーがあった。審査委員会による審査結果に基づき，得点の高かった下記 2 名を表彰することとした。

【学部生の部門】

学生氏名：加藤　真木（かとう　まき）

学生所属　　：大分大学理工学部共創理工学科知能情報システムコース　4 年

指導教員氏名：古家　賢一

研究テーマ　：室内インパルス応答補間の精度向上に関する研究

- “室内インパルス応答における方向情報を用いた空間的補間精度向上の研究 ”
  学生のための研究発表会 2021 論文集，pp. 1-4，2021.

学生氏名：平井　陽大（ひらい　はると）

学生所属　　：九州大学芸術工学部音響設計学科・4 年

指導教員氏名：高田　正幸

研究テーマ　：保育施設周辺地域の音環境に関する調査研究

- “都市部の保育施設周辺における音環境に関する意識調査”
  学生のための研究発表会 2021 論文集，pp. 19-22，2021.

【大学院博士前期課程の部門】

該当なし

【大学院博士後期課程の部門】

該当なし

8. 日本音響学会九州支部学会活動貢献賞について

役員による推薦がなかったため，本年度は該当者なしとする。

9. 学生表彰の改革について，検討ワーキング報告

学生表彰のエントリーが減ってきている等の問題について，前回総会（2021 年 3 月 27 日）で指摘があったため，運用・規約等の改革について検討を行った。

検討ワーキングメンバ
　岡本学（崇城大学）
　高田正幸（九州大学）
　富来礼次（大分大学）
　水町光徳（九州工業大学）
　福島学（日本文理大学）
　西村勇也（熊本高等専門学校）

・課題は下記の 2 点
1. エントリーが少ない
　エントリー用紙によるエントリーが必要。もらえそうもない人はエントリーしない
2. 表彰時期が遅く奨学金免除に使うには時期が合わない

・論点として「時期」「賞の位置づけ」「対象者」「エントリー方法」について議論を行った。

「時期」
過去には 1 月に表彰を行っていたが，KYJCA/YKJCA を対象とするためエントリー締め切りを現在の時期にした。現状 KYJCA/YKJCA がなくなったため，例えば学生のための研究発表会を区切りとして早めてもよい。

「賞の位置づけ」
現在の賞は過去の発表および，音響学会以外の発表も参考業績として記載ができ，「業績賞」的な意味合いを持たせている。そのため，エントリー用紙の記載事項が多く，また単独の発表では賞を取りづらい印象がある。単独の発表に限った賞に変えるという案もあるが，業績賞的意味合いも残したいという意見も多かった。

したがって，(1)研究発表に対する表彰，(2)業績賞的賞の二つに分けるという案も出た。この場合(1)は主催発表会発表を自動エントリーにするという案も出ている。

「対象者」
発表に対する表彰であれば学生のみでよいが，業績賞であれば「若手研究者」を含めてもよいのでは，という意見も出た。また現在の規約では「在学中」の会員とあるが，卒業後数年までと広げる手もある。対象発表がエントリーから 24 か月前までなので，発表時が学生であれば，卒業後も可とすることも案として出た。

「エントリー方法」
賞を(1)研究発表に対する表彰，(2)業績賞的賞の二つに分けるのであれば，(1)は自動エントリー，(2)はエントリー用紙によるエントリ（現行）が良いと思われる。

・規約との整合性について
規約は，(1)の研究発表に対する表彰に即したものになっているが，実際は(2)の要素も含めて運用されているため，仮に(1)の様な表彰にした場合も，規約の改正は不要と思われる。ただし，賞を 2 種類に分けるのであれば，規約を改正し，2 つの賞にした方が，良いように思われる。

・結論
「賞の位置づけ」「対象者」については，規約の改正が必要かを検討する必要があるため，継続審議をお願いしたい。
「時期」については，規約の改定は不要のため，次年度幹事団で適切な時期に実施いただければよい。エントリー方法については，規約変更は不要だが，賞の位置づけに依存するため，賞の位置づけの決定後に議論されることが望ましい。

10. その他

特になし